

## 「関西文化学術研究都市の今後の整備方策について」 (セカンド・ステージ・プラン)の概要

### 答申のポイント

#### (1) 関西文化学術研究都市の理念

～ 21世紀の文明・文化を創造する新文化首都～

- ①文化の創造と交流（文化創造の中枢の形成、文化の交流による国際貢献）
- ②新しい学術研究の推進（人類的課題の解決、科学技術の振興、人類の繁栄への寄与）
- ③21世紀のパイロット・モデル都市の建設

#### (2) セカンドステージに向けての取り組みの方向

##### ①文化学術研究の中枢としての機能充実

- ・新しい芸術文化創造、文化遺産の保存・活用の中枢の形成
- ・国立国会図書館関西館等における機能の高度化
- ・人類的課題の解決を目指す学術研究、新産業創出を支える連携の中枢の形成
- ・先導的大学機能の実現に向けた取り組み

##### ②世界に開かれた文化学術研究交流の推進

- ・文化面、新産業創出面での交流、連携及び研究交流システムの強化
- ・パイロット・モデル都市としての取り組み成果の発信

##### ③文化の薫る、住みよいまちづくりの推進

###### ○生活者、研究者の視点に立ったまちづくり

- ・安全、快適で便利なまちと良質な住宅の供給と健全なコミュニティの形成
- ・都市センターの形成、各地域の個性を活かした一体的なまちづくり

###### ○都市基盤及び情報・通信基盤の整備

- ・公共交通ネットワークの形成（バス路線網、鉄道の利便性向上）
- ・道路ネットワークの形成（広域幹線道路、クラスター間、鉄道駅とクラスター間等）
- ・情報通信ネットワークの形成

###### ○パイロット・モデル都市としての取り組み

- ・生きがいを感じるまちづくり
- ・環境と共生、調和するまちづくり
- ・文化創造の中枢にふさわしい環境の整備
- ・高度情報化を先導するまちづくり
- ・国際交流モデル都市

### (3) まちづくりに取り組む体制と方策

#### ①推進体制の強化

- ・ 本都市の住民及び研究者の参画を得つつ、今後とも産・学・官の各セクターの協調体のもの  
とに推進。
- ・ 3 府県、5 市 3 町の広域的連携の一層強化が必要。

#### ②段階的な都市建設の推進

- ・ 既存の施設、組織の活用を優先し、必要が生じた時点で新たな施設整備に着手することが現実的な方向。
- ・ 都市の諸活動を支える基礎的な条件については、都市建設の各段階で確保されることが必要。